

◎令和2年度白石市介護保険特別会計予算

〔質疑〕一般介護予防事業費の運転技能向上トレーニング機器について、どのくらい使用しているのか。

また、その使用によってどのように運転の向上がなされているのか伺う。

〔答弁〕運転技能向上トレーニング機器については、オンラインカフェ（認知症カフェ）が、毎週火曜日に行われており、ご本人とご家族を対象に使用いただいている。

保健師や地域支援推進員の指導の下、楽しみながらトレーニングしていただいております。だいが運転技能が上達された方もいる。

今後は、個人宅でトレーニングを積んでいけるように貸し出し等もしていきたいながら、上達の度合いや数値化について検討していきます。

◎令和2年度白石市水道事業会計予算

〔質疑〕アセットマネジメント策定業務について、現在の取り組み状況と令和2年度の

取り組み予定を伺う。

〔答弁〕アセットマネジメント策定については、計画的な更新投資及び重要度や優先度を踏まえた更新投資の平準化、また、ライフサイクルコストの減少などを効果として見込んでいる。

今年度においては、水道施設の現状調査や現在の財政状況などの基礎調査を行っており、令和2年度においては、今後の有収水量の予測や起債償還等の財政収支を照らし合わせ、施設更新の平準化や今後の料金のあり方について検討していきたいと考えている。

討 論

予算審査特別委員会（2月27日）及び定例会最終日（3月6日）において、第23号議案に対する討論が行われました。

定例会最終日に行われた討論の主な内容は、次のとおりです。

◎第23号議案 令和2年度白石市一般会計予算

反対 平間 知一

令和2年度一般会計当初予算案について、3つの点を指摘したい。

1つ目は、新たな教育関連事業についてである。

白石学びの環境づくり事業においては、教員の負担増に加え、テストにばかり予算をかけるやり方は問題であり、また、保育園や幼稚園、小中学校へ暗唱読本を配付し、一律の教育内容を現場に押しつけることは賛成できない。

外国語・国際理解教育推進事業においては、既にオーストラリアへ生徒を派遣しており、新たに中国へ海外派遣することが必要と言えるのか。

2つ目は、現在進行中の中河原白石沖線街路事業についてである。

本市が厳しい財政状況に置かれている中で、多額の予算が伴うこの事業を継続することは、他の優先すべき事業予算を縮小することになる。今は本事業の一時凍結を

含め、再度検討が必要と考える。最後に、白石市外二町組合

の繰出金についてである。

刈田綜合病院が財政難に陥った要因は、本市からの繰出金が減額となったことが大きな原因と考える。病院は多額の債務を抱えざるを得なくなっており、銀行からの融資も難しくなっている。

本市の厳しい財政は理解するが、市民の健康と命を守るために、地域医療の要としての刈田綜合病院の経営が成り立つことが最優先であると考ええる。

以上の理由から第23号議案に反対である。

賛成 佐藤 秀行

令和2年度一般会計当初予算案については、大変厳しい財政状況を踏まえ、その事業が本場に必要ない事業なのか、目的や成果も含めてさまざまな角度から検討された編成であると考ええる。

学校教育の充実については、継続事業も含め、新たな事業にも取り組もうとしており、

確かな学力の育成を図るため、さまざまな施策を展開している。

子育て支援については、本市が全国版の子育て情報に紹介されるなど、子育てしやすいまちとして注目を集めていることから、改めてこれらに関する取り組みを評価する。

また、災害への備えとして、液体ミルクを初めとする備蓄品の充実など、災害に強い安心・安全なまちづくりを目指そうとする思いが強く感じられる。

市民の暮らしを守るためには、環境の整備、教育の充実、福祉の向上などに対し自分の予算配分をしなければならぬが、令和2年度予算案については的を射た配分である。

厳しい財政状況の中であっても市政課題を先送りすることなく、特色ある施策を推進するとともに、白石市が選ばれるまちとなるよう予算が編成されている。

以上の理由から第23号議案に賛成である。